

花

センターだより

緑

2008・10
6号

(財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

意外に知らない「身近な植物英語」から考えるまちづくり

第二回 「セル、シーズ、ジェネリック」

兵庫県立淡路景観園芸学校

主任景観園芸専門員 平田 富士男

● 私たちの生活のなかの花みどり英語

花みどりの英語第二回は、「セル、シーズ、ジェネリック」をとりあげてみましょう。まず、「セル」という言葉ですが、皆さんはどういう場面でお聞きになるでしょう。「売る」という意味の「Sell」という言葉がありますが、ここで取り上げたいのは「Cell」のほうです。パソコンを使われる方はよく表計算ソフトの「Excel(エクセル)」を利用されると思いますが、このエクセルのセル(つまり表計算のひとつひとつのマス目)は、このcellであり、わたしたち生物体を構成する最小単位である「細胞」を意味します。エクセルの表は、セルという細胞が縦横に並んだようなものです。私たちが何気なく使っているセルも植物に関する英語だったわけです。

同じく「シーズ(Seeds)」です。ビジネスの世界では、ビジネス展開の元になる資源のことを「シーズ」と称します。「ニーズ(Needs)」と「シーズ」がぴったり合ったとき、そこにビジネスが成立するわけですね。ですから、「シーズ」はいわば「ビジネスのネタ」なのですが、もともとの意味は「タネ(種)」です。

受精したCell(細胞)は、分裂を繰り返してSeed(種)を形成し、さらに成長してひとつの個体となっていきます。

さて、最後の「ジェネリック(Generic)」ですが、



▲オープンガーデンに集まる多くのガーデナー

これは最近、急にテレビCMでもよく聞くようになりました。「ジェネリック医薬品」としてです。しかし、これ

も元々といえば、生物の分類上の用語で「種(しゆ)」のもうワンランク広い仲間を表す「属(Genus)」の形容詞形、つまり「属の」という意味です。ちなみに、さきほどの「種(しゆ)」は英語では「スピーシーズ(Species)」です。

● まちづくりに関わる人の範囲を広げ、多様性を高める

さて、私たちがふだん何気なく耳にしている「セル、シーズ、ジェネリック」は、ある意味植物の生き様を示しています。つまり、植物はセルというたった一つの細胞を大事に育てて多くのシーズ(たね)を生産し、そこから多くの個体を育て、さらに種を多様化させていってジェネリックを形成し、生態系としてより強固なものにしていっているのです。

まちづくり活動も、最初はたったひとりの問題意識やニーズにきっかけがあるのですが、それがそのままでは「セル」の状態に過ぎません。一人の心と頭のなかに生まれたセルをシーズからジェネリックに発展させていく「大きな流れ」をつくっていくことが不可欠です。そのとき「花や緑」は大変有効なツールになります。「花や緑」は、単に一人一人の鑑賞の対象となってその人の心をやすすだけではなく、まちづくりに関わる人、まちづくり活動に取り組もうとする人を増やし、その範囲を広げ、それに関わるさまざまな人を呼び込み、巻き込んでいくことに対し有効に機能します。県内で活動箇所が多くなってきた「オープンガーデン」などはその典型的な事例と言えましょう。私たちは花や緑のもつそのような機能を最大限活用していくことを常に考えていくべきだと思います。私は、そこからまちづくりの仲間が「属々(ぞくぞく)」と育っていくことを願っているのです。

さて、今回は「セミナー、カルチャー、サクセッション」を考えてみましょう。

「花緑施策と景観施策との融合」調査研究(平成20年3月)

美しいまちを創り伝えるために

花緑・景観研究会代表 小林 郁雄

(淡路景観園芸学校兼任教員/神戸山手大学教授)

1 景観緑政策・施策と花緑まちづくり

街を実際に使う人々、そこに住んでいる人たちやその街を訪れる人たちにとっては、街なみの構成要素である人工物と自然の間に特別な意識の境界はないが、行政側ではそうはいかない。人工物は主に「景観施策」、自然は主に「花緑施策」と担当部署が分かれている。

花緑施策のなかでも公園、道路、河川、都市緑化など部署間の連携が少ないこと、また景観施策でも既存条例と新しい景観法の取り扱いなど、それぞれの施策内での課題もあるが、その一方で花緑施策及び景観施策に共通する課題として、積極的な住民参加による地元主導の施策があげられる。



緑のサポーター(甲子園口地区)

2 花緑政策・制度とボランティア・NPOの役割

ボランティア・NPOから次のような指摘があった。

●「花いっぱい」という呪文にとらわれている：「花いっぱい」のためには、土づくり、花柄つみなどの地道な手入れや水やりといった継続的作業が必要とされる。これらの作業なくして「花いっぱい」

は望めないし、本来このような地味な作業が大部分を占めるにも拘らず、このような作業に注目した施策はほとんどされていない。

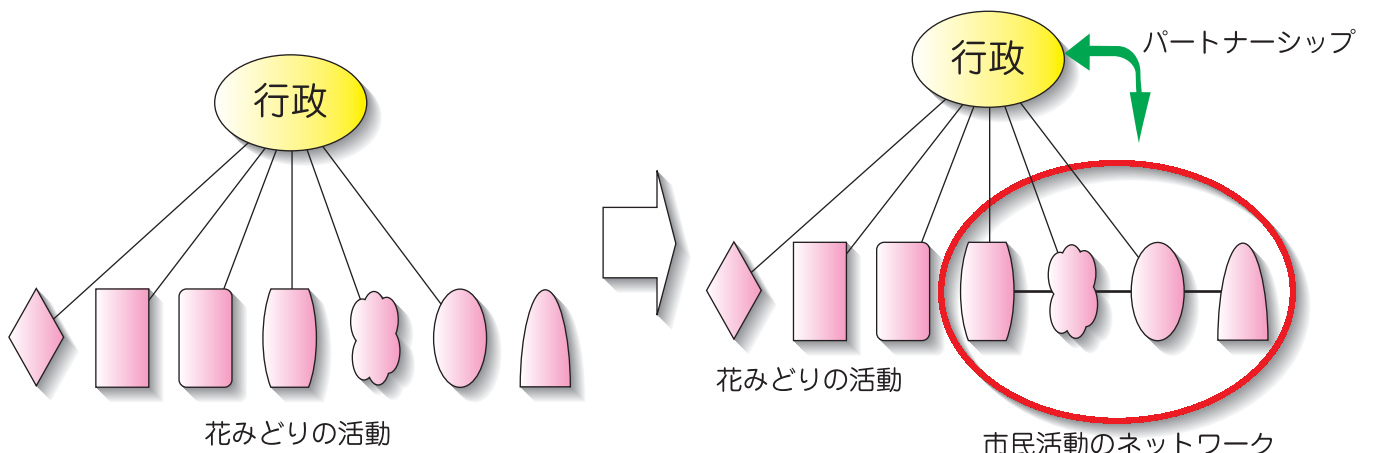
●施策の不思議：行政が住民の花緑活動に配布する資材としては相変わらず、もの(苗、肥料など)の配布が中心である。しかも配布時期が、年度の関係上秋になることがしばしばで時には11月になってしまうこともあり、必要な時に必要な資材が配布されないということが多し、求めている苗や資材が求めている活動に配布されているのかは非常に疑問である。

●地道に活動をしている人や団体を知らない行政：地域の中では、長年花の世話を続けている人達やグループがたくさんある。彼らはお金(苗代)や人手、後継者がいないなどという悩みを抱えながらも、黙々と活動をしている。行政は、こういった人達やグループに目を向ける手だてを考慮することが必要で、活動団体(個人)の洗い出しと名簿(データ・ベース)の作成と維持管理が急務である。

活動団体ネットワークの実現に向けて

これからの花緑の活動において、例えば県民局単位や市町単位程度の「〇〇花みどりネットワーク」が住民の発意で出てくれば、それを支援するといった施策が望まれる。そのために、例えば地域ごとの「花みどり活動交流ワークショップ」を開催し、地域での活動の横の連絡の芽をつくっていくことから始めたらどうだろう。

神戸市は、現「花緑市民ネットワーク」への支援を拡充されたい。



3 花緑施策と景観施策との融合のための方策

花緑行政は、個人やボランティア・NPOに対しての補助などを通じて、個別対策には多くの施策が用意されているが、まちづくり団体や専門家活用に対しては、不十分なところである。

一方、景観行政は、制度・条例などの整備を通じて、まちづくり団体との関係を深め、まちづくりという視点での施策は進められているが、個人・ボランティアNPOとの関係には、施策として不十分なところがある。

こうした、両施策の現状の特性を基に、花緑行政と景観行政とを融合的に推進していくためには、以下のような方向の施策展開が必要と考えられる。

●**花緑行政の地域まちづくりへの参画**：地域のまちづくりへのコミットを深め、まちづくり協議会などの活動とタイアップした施策や、条例などで指定された景観地区への積極的な施策を展開することによって、まちづくりにおける花緑の位置づけが明確化し、地域による自律的な維持管理を積極的に進めることができる。

花緑行政のまちづくりへの参画は、継続性ある花緑政策への根本的な方策でもある。

●**景観行政の私的な花緑への規制誘導**：道路緑化や公園花壇などにおける継続的な景観向上への施策に見合った私的空間への対策が、景観施策として望まれる。そのための基礎条件となる花緑景観への規制誘導を景観地区指定などに組み込んで、外部に見える個人空間の花緑支援を積極的に進める方策につなげたい。

そうした施策は、ボランティア・NPOとのより緊密な関係づくりやCBO(地域主体組織)とNPO(専門非営利組織)との協働促進施策が必要である。

●**花緑・景観行政における参画・協働**：花緑施策と景観施策の融合において、もっとも基本となるのはこの参画と協働である。行政と県民・市民との協働はもとより、県民・市民同士が花緑や景観に関し、その環境向上をめざして共に進めていくことが、より重要であり、花緑・景観行政は直接的な施策よりも、そうしたCBOによる地域的活動やNPOによる専門的活動に、どのような支援をどのような形で行うかを重視した施策展開が重要である。

1 広い空のあるのびやかな まちなみ景観にしよう



道路側に屋根の傾斜をとると道路への圧迫感を軽減でき、上空への広がりが増します。



2階の外壁面を道路から後退させて上空への広がりが増しています。

2 落ち着いた素材や 色彩を使おう



折衷洋館風スタイル：
黒スパンニッシュ瓦葺き+砂壁



純洋館風スタイル：
スレート葺き+漆喰・レンガ

3 生垣やフェンス緑化、庭木 などで緑をつなげよう



多様な樹種が植えられた生垣 開放的な緑化によって庭の樹 無粋なブロック塀もツタやツは緑豊かなまちなみの演出を 木も緑豊かなまちなみ景観の 緑性の植栽を組み合わせることで行う方法としては効果的です。演習に寄与しています。 とで緑豊かな景観にできます。

兵庫県下のガーデニングクラブの紹介

特定非営利活動法人アルファグリーンネット (AGN)

代表 岡本 泰江

○発足の経緯

1999年12月17日に淡路景観園芸学校で開催された「花と緑のまちづくりフォーラム」に参加したまちづくりガーデナーコース受講生の中から受講生相互の連携が必要との声が出たことを機に、2000年3月23日に75名が参加して「アルファグリーンネット」(略称AGN)を設立しました。同年5月より会員向け広報誌「AGNニュース」を発刊、9月「AGN憲章」を制定し、2001年10月には特定非営利活動法人の認証を得ました。

○活動内容

淡路景観園芸学校は、キャンパス公開事業を行っており、AGNの会員がアルファメイト



寄せ植え体験講座風景

トとして同校を訪れる方々に学校のすばらしさを知っ

て頂くために、学内の各施設、フィールドゾーン等、キャンパスの案内や寄せ植え体験指導をしています。



赤いユニフォームのアルファメイトによるキャンパス案内

また、県外を含め県下各地域のAGN会員を訪ねるキャラバンを実施し、情報交換や交流会の開催、まちづくり活動やオープンガーデン活動などの普及啓発の支援なども行っています。

まちづくりガーデナー養成講座も来春第11期を迎え、各地域のガーデナーも増えていく中、AGNの活動もより充実したものにすべく、AGNニュース、ホームページ(工事中)など情報発信にも努力しています。会員も随時募集、いつでも入会できますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

西武庫公園ボランティアグループ「西武庫メイト」

代表 溝渕 かずえ

○発足の経緯

県立西武庫公園は日本初の交通公園として昭和38年に開園されました。武庫川沿いの7haの園内には桜をはじめ、5700本の樹木、500本のバラ園、分区園での花壇作りなど、バラエティーに富んだ楽しみを求めて多くの人々が普段着で訪れます。また、初夏には武庫川から引いた伏流水の水面にホタルが舞い、周囲の高層マンションの中にあつて、オアシス



子供農園のナス畑

のようでもあります。

このような素晴らしい公園を、地域に開かれたコミュニティとしてより交流を深める場所にしたいとの願いから、2年前に「西武庫メイト」を立ち上げました。

○活動内容

活動のひとつが「タネから花を咲かせよう」です。公募した20名のメンバーが温室に集い、年に2回の種

まき、育苗を行い、園内の花壇やコンテナに植え付けてしています。また「子供の日」には来園者に苗花をプレゼントし、家庭での園芸にも役立っているようです。

今春からは、「バラ園」での作業グループがスタートし、「子供農園」では近隣の幼稚園や小学校の子供たちが野菜の植え付けをしました。植物は日々表情を変え生長します。

待たなしの作業は予想以上に大変ですが、来園者の笑顔と「ご苦労様」の言葉に支えられ、頑張っています。まだスタートしたばかりで失敗も多いですが、講師の指導を受けながら作業を行い、まちなみガーデンショーにも参加したりして、楽しんでおります。



セルトレイへの花の種まき

「みんなの為にみんな育てる公園」に、是非おいでください。

三田花と緑のネットワーク

代表 高嶋 清子

○発足の経緯

市が主催するまちなみガーデンショーへの呼びかけに、花好きの4軒が集まって始めたオープンガーデン。今では近隣の市にも広がりを見せ100軒を超えるまでに成長しました。

発足から9年を経た現在、個人会員220人、法人会員20社を数えており、花と緑のまちづくりに貢献しています。

○活動内容

自分たちの庭から始まった活動は、武庫川河畔、新三田駅、市民センターなど公共空間の植栽管理へと広がっています。その他に「グリーンフィンガーズ」、「樹のクラブ」、「バラクラブ」の専門部があり《花苗の育成、EMを活用した園芸》、《里山の学習、街路樹を活か



オープンガーデンを楽しむ来訪者たち

した街並み景観への提言》、《バラの栽培、手入れ等の講習会》など、多彩な活動を展開しています。また県内外からの視察の受け入れな

ど、おもてなしの心を大切に交流の輪を広げています。

活動の様子については、「会報」やオープンガーデンガイドブック「グリーン・ページ」の発行、「ホームページ」開設の他、メンバーが出演する地元FM局、雑誌、NHKその他のTV局など様々なメディアを使って情報を発信しています。

昨年「ささやかであってもチャリティとして社会に貢献」を掲げ「Open Garden Passport」を販売。売り上げの一部をチャリティ募金とする新しい試みに取り組んでいます。オープンガーデンではチャリティに協力した証に“緑のリボン”を配布するなど細部にこだわり、楽しみながら社会貢献に取り組んでいます。



オープンガーデンの目印のプレートと旗

おのガーデニングボランティア

会長 小林 豊

○発足の経緯

平成14年に「ひまわりの丘公園」が開園した際、公園内の花壇を自分たちの手で管理し、訪れる方を楽しんでもらいたいとの思いから私たちの団体は発足し、現在会員の登録は115名になっています。

○活動内容

「ひまわりの丘公園」をはじめ、小野市内の公共施設等で植栽活動をしており、花によるまちづくりに参加しています。



ガーデニングインストラクター養成学習会

○活動の特徴

当初は花苗を購入し、植栽活動を行っていましたが、デザインした花壇に合うような花を育てたいと考えるようになり、種を購入し育苗を始めました。

今では、年間約20万ポットの花苗を生産し、市内公

共施設の植栽にとどまらず、市内の教育機関や自治会へも花苗を配布し、花で街を飾ってもらうまでになりました。

また、市が主催するガーデニングインストラクター養成学習会では、花の専門的な知識と技術を身につけた



播種風景

「おのフラワーマイスター」を養成しており、私たちの団体では数多くの「おのフラワーマイスター」が、グループリーダーとして活躍しています。

○今後の展開

今後は、市と協力しながら、園芸療法といった新たなフィールドにチャレンジしていきたいと考えています。

アザレアの花を多く長く咲かせる

Q 花をたくさんつけているアザレアを購入して飾っていると、蕾が茶色になり、咲かずに落ちてしまいます。たくさん咲かせる方法を教えてください。

A アザレアは、日本で栽培されている常緑ツツジをヨーロッパで品種改良したものです。本来開花期は5月ですが、8月から翌年5月頃まで開花させる促成栽培では、株を冷蔵して強制的に休眠させた後に加温したり、花つきを多くするためにわい化剤処理などをして、温室の温度約20℃で、湿度の高い環境で育てられています。

このような環境で育ったアザレアを購入して暖房の効いた室内に置くと、乾燥と昼夜の極端な温度差のために蕾が落ちてしまいます。

蕾を落とさないためには、日当たりのよい窓辺で、暖房の風が直接当たらない場所に置きます。温度は最低5℃程度あれば春先まで花を楽しめます。

開花中の管理は、花がしおれ始めたら、早めに子房ごと摘み取ります。この期間は用土が乾燥するので、花が垂れたり、鉢土が乾いて持ってみて軽くなったら、水やりをします。肥料は施しません。

ブルーベリーの植えつけ

Q ブルーベリーを庭に植えて楽しみたいと思います。苗木の植えつけの方法を教えてください。

A 植えつけは、春植えと秋植えがあります。温暖な地方では、10月下旬から12月上旬に植えると活着がよく、生育もよくなります。日当たりと水はけの良い場所に直径約50cm、深さ約30cmの植え穴を掘ります。

ブルーベリーは、酸性土壌が適しています。pH6程度以上では用土に酸度を調整していないピートモスを、あらかじめ水を吸わせて30%程度まぜます。

苗は、根元から太く、新しい根が出ているものを選びます。ポットから抜き、根鉢の外側の土を2割ほど落とします。根鉢をピートモスで包まれるようにして浅植えにします。根は地表面近くに広がるので、深植えしません。

植えつけた後は、たっぷり水やりをして土を落ち着かせ、株元は乾燥を防ぐため、腐葉土、堆肥などで覆います。

ブルーベリーは、自家不和合性のある果樹です。実つきをよくするため、同じ系統から2品種以上植えます。



根鉢をピートモスで包む

●● 季節の園芸相談 ●●

相談員 福本 誠

観葉植物の冬越し準備

Q 観葉植物を春から戸外で育ててきました。冬越しのポイントを教えてください。

A 観葉植物は熱帯・亜熱帯原産で、明るい日陰や日陰で育つものがほとんどです。生育温度は、年間を通じて昼間25~35℃、夜間15~20℃程度です。

10月になり朝夕涼しくなると、生育が徐々に止まってくるので、夏と同様の水やりをすると過湿になって、根腐れをおこします。水やりの間隔を広げるようにします。肥料は、寒さに弱い種類には施しません。寒さに強い種類は10月末まで施します。

室内への取り込みは、最低気温が15℃以下になる頃(明石では10月中旬)を目安に寒さに弱いアンズリウム、ディフェンバキア、アローカシア、クロトンなどから始めます。枯れ葉や込み合った枝、鉢底からはみ出た根などを切り、鉢をよく洗い、置き肥(固形肥料)は必要ないので取り除いておきます。

害虫の確認をすることが大切です。特にカイガラムシ、ハダニや鉢底のナメクジを駆除します。



クロトン

ユリオプスデージーの形を整える

Q 花壇で、ユリオプスデージーを育てています。茎が長く伸び、下葉も落ちて、株の形が悪くなりました。どうしたらよいですか。

A ユリオプスデージーは、秋から春までの長い間、黄色の清楚な花を咲かせるキク科の常緑低木です。高さは1m近くなります。枝分かれしにくく、葉が下のほうから枯れあがるので、手入れを怠ると草姿が乱れてしまいます。

株を整った形にし、花をたくさん咲かせるために、切り戻しをします。生育の良い初夏や秋に茎を少し長めに葉のついていない少し上まで切り戻します。下の方に葉がついていない場合は、上部の葉を残して切り、わき芽を出させてから形を整えます。深く切り戻しすぎると枯れることがあります。

切り戻した枝先は、さし木をすることができます。枝先を長さ5~10cmに切って、さし木をします。発根したら鉢上げをして、根が十分に育ったら花壇に植えます。



県民の緑のまちづくり活動を支援する

「県民まちなみ緑化事業」のご案内

兵庫県では、都市地域においてNPOや自治会などの団体が樹木を中心とした緑化を行う場合や、県民のみなさんが協働して公園や空地などで緑化を行う場合に、苗木・肥料等の購入や緑地整備に対して実費相当分を補助する「県民まちなみ緑化事業」を実施しています。

今年度の募集期限は11月7日(金)となっています。地域での緑化をお考えの方は、当事業の活用を是非ご検討ください！

- 【事業概要】 ○対象地域 市街化区域、用途地域 など ○対象経費 植物材料費(100万円上限)、
○対象者 NPOや自治会、婦人会などの各種団体 など 土壌改良費(500万円上限) など
○対象事業 公園や地域の花壇、空地等で行う緑化 など 補助率：10/10

花ごよみ

	花名	10月	11月	12月
フラワーセンター	コスモス	●	●	
	センニチコウ	●	●	
	ケイトウ	●	●	
	ジニア・リネアリス	●	●	
	ビオラ	●	●	●
西猪名公園	イリオモテアサガオ	●	●	
	コスモス	●	●	
	ノジギク	●	●	
一庫公園	コムラサキ(実)	●	●	
	コブシ類(実)	●	●	
	ドウダンツツジ(紅葉)	●	●	●
	クヌギ・コナラ(紅葉)	●	●	●
	カエデ類(紅葉)	●	●	●
播磨中央公園	バラ	●	●	
	シュウメイギク	●	●	
	ヒメツルソバ			●
	アケビ(実)		●	●
	アメリカフウ(紅葉)		●	●
	ベニバナトキワマンサク	●	●	
甲山森林公園	リュウノウギク		●	●
	ヤクシソウ	●	●	
	アキノキリンソウ	●	●	
	ヨシノアザミ	●	●	
	アキノタムラソウ	●	●	
	サワヒヨドリ	●	●	
	サザンカ		●	●
	カンツバキ			●
	ノコンギク	●	●	
	ツワブキ		●	●
	イロハモミジ(紅葉)		●	●
	オオモミジ(紅葉)		●	●
	ハゼノキ(紅葉)		●	●
有馬富士公園	ツワブキ(花)	●	●	
	ナツハゼ(紅葉・実)	●	●	
	ソヨゴ(実)	●	●	
西武庫公園	バラ	●	●	
	コスモス	●	●	
	ポトス		●	●
赤穂海浜公園	フヨウ	●	●	
	サザンカ			●
	ツワブキ		●	●
	のじぎく		●	●
明石公園	イロハモミジ(紅葉)	●	●	●
	サザンカ			●
	ハゼノキ(紅葉)		●	●
	カンツバキ			●

詳しくは、下記までお問い合わせください。

兵庫県県土整備部まちづくり局

都市政策課緑化政策係

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL：078-341-7711(内線2739、2757)

FAX：078-362-9487



花と緑の行事ほか

県立都市公園、フラワーセンターでは、10月～12月にかけて、次の催しを計画しています。

10月		
フラワーセンター	ストレプトカーパス展	10/4～11/4
	ベゴニア展	10/23～10/28
	第31回兵庫県連合菊花展覧会	10/19～11/23
播磨中央公園	秋のばらまつり	10/25～
11月		
フラワーセンター	播磨盆栽銘品展	11/13～11/16
	ポインセチアコレクション	11/14～12/25
	寒蘭展	11/22～11/24
	洋ラン特売会	11/29～12/7
播磨中央公園	秋のばらまつり	10/25～11/9
西武庫公園	花と緑の教室	11/20
一庫公園	生花と小物を使ったクリスマスアレンジ	11/27
	どんぐりや木の実をつかって クリスマスリース作り	11/29
有馬富士公園	ロハスクラブ 「ハウスキーピング ハーブアロマキャンドルを作ろう」	11/13
	クリスマスの洋花の寄せ植え	11/21
	ロハスクラブ 「ハーブクラフト レッスンクリスマスリース」	11/27
12月		
フラワーセンター	葉牡丹のハンギングバスケット教室	12/7
	2008春の写生画コンクール入賞作品展	12/13～1/6
	クリスマス音楽会	12/23
西武庫公園	花と緑の教室	12/6
一庫公園	生花を使ったクリスマスリース作り	12/6
有馬富士公園	ロハスクラブ 「クッキングハーブ ハーブタブローを作ろう」	12/11
	松竹梅の寄せ植え	12/19
赤穂海浜公園	松竹梅の寄せ植え	12/10

(※日程・内容については変更することがあります。)

●お申し込み先●

花と緑のまちづくりセンター(9:00~17:00)

平成20年 10~12月 園芸教室のご案内

●一般講座

1講座だけでも受けられます。事前申し込みが必要。受講料は1回100円、ただしNo.35は無料
時間：記載のないものは13:30~15:30 日程・内容等は変更になることがあります。

No	日程	課題名・内容	講師名	申込開始日
32	11/2 日	明石公園の自然観察⑧(雨天決行) ・明石公園内を散策しながら自然に親しむ 午前10:00~	明石公園の自然に親しむ会 兼光 たか子	受付終了
33	11/13 木	家庭果樹のつくりかた ー果物づくりの基礎知識ー ・野菜や花との違い、花芽のできる時期と結果習性、肥料のやり方などを学ぶ	園芸研究家 荒木 斉	11/1
34	11/16 日	クリスマスの洋花の寄せ植え実習 ※材料費別途2,000円 ・クリスマスを楽しく彩る洋花の寄せ植え 午前10:00~ ・午後1:30~	フラワーセンター 岡田 ちづよ	11/1
35	11/23 日	樹木を写そう ー秋ー ・秋の樹木の生態を樹木医に教わり、特徴を捉えた撮影法を学ぶ	花緑センター 梅木 伸一郎	11/15
36	11/28 金	サクラの落ち葉を使ったシルク染め ー晩秋を染めるー ※材料費別途1,800円 ・サクラの真っ赤な落ち葉を使ってシルクのショール染めにチャレンジ	園芸研究家 前田 初代	11/1
37	12/4 木	家庭果樹のつくりかた ーみかん類、ブドウ、キウイフルーツー ・品種の特性、枝・花・果実の管理、整枝・剪定などを学ぶ	園芸研究家 荒木 斉	11/15
38	12/7 日	明石公園の自然観察⑨(雨天決行) ・明石公園内を散策しながら自然に親しむ 午前10:00~	明石公園の自然に親しむ会 兼光 たか子	受付終了
39	12/21 日	松竹梅の寄せ植え実習 ※材料費別途3,000円 ・正月を華やかに彩る松竹梅の寄せ植えを学ぶ 午前10:00~ ・午後1:30~	フラワーセンター 永田 鈴子	12/1

●連続講座 剪定実技(全4回) <開催中>

※連続講座は途中参加でも全回分の受講料となります。
受講料：一括 800円 時間：13:30~15:30

No	日程	課題名・内容	講師名	申込開始日
3	11/30 金	実技③マツの剪定・整枝 ・マツの剪定・整枝法について実習を交えながら解説	兵庫県造園建設業協会 三井 研一	受付終了

●連続講座 環境(全3回)

※全回受講で受付。
受講料：一括 600円 時間：13:30~15:30

No	日程	課題名・内容	講師名	申込開始日
1	10/25 土	環境①森と日本人 ・日本の森が日本人の心を育んだ	花緑センター 村田 光平	受付中
2	12/13 土	環境②森と文明 ・森は文明の力に耐える	花緑センター 村田 光平	受付中

●連続講座 文化(全4回)

※全回受講で受付。
受講料：一括 800円 時間：13:30~15:30

No	日程	課題名・内容	講師名	申込開始日
1	10/26 日	花の文化① ・花の香りと薬草の文化 人と花のための音楽	花緑センター 藤岡 作太郎	受付中

花と緑のまちづくりセンターだより 6号

●平成20年10月1日(年4回発行)

●編集発行 財団法人兵庫県園芸・公園協会
花と緑のまちづくりセンター〒673-0847 明石市明石公園1-27
TEL : 078 (918) 2405
FAX : 078 (919) 5186
Eメール : info_midori@hyogopark.com

～ 編集後記 ～

昨今、残暑の余韻は一気にかき消され、日本の秋は一目散に駆け抜けて行ってしまいます。

色づき始めた木々や透き通った空、風が心地よいこの季節を一日一日大切に味わって過ごしたいですね。